

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	西海 幹樹
主な担当科目	インターンシップ①②,公演実習Ⅰ,公演実習Ⅱ 照明,公演実習Ⅲ 照明,公演実習Ⅳ 照明,卒業制作作品研究,舞台スタッフ論①,舞台スタッフ論②,舞台芸術実習①(月4, 5, 木3),舞台芸術実習②(水2, 3, 月2, 3),舞台芸術実習③(水3),舞台照明演習_R(火1, 2),舞台照明演習_L(火3, 4),舞台情報処理_X(月1),舞台情報処理_Y(月2),舞台情報処理_Z(月3),舞台制作概論
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	舞台スタッフにおける実践的な人材育成を行う。昨年度から継続 1.安全教育の徹底 2.業界が必要とする資格取得の人材育成 3.最新技術を取り入れた実践的な照明技術者の育成
2024年の教育に関する自己評価	舞台における安全教育について舞台スタッフの学生には実施してきたが公演中にキャストの落下事故があり、安全作業以外にも無理のないスケジュール、運営、劇場入りの演出家含め、スタッフ・キャストへの安全教育の徹底が重要であると感じた。 それには全体を把握しコントロールできる、本来の演出助手や舞台監督の指示系統が重要であると感じ、舞台スタッフコース内でも改めてFDや実習における運用方法を再検討、重点的に対策をすべきだと改めて感じており、来年度に向けて努力したい。
2024年のFD活動に関する自己評価	学内のFDに積極的に参加した。特に舞台スタッフ分科会のFDでは学生のトラブルや多様性など情報共有を行い、教員全体で指導方法などを検討した。舞台スタッフコースでは稽古参加や図面作業など、通常の授業時間以外の作業が多く、日常生活に密接しており、個別の案件を相談されることも多く、早めにトラブルを回避したり退学等の防止になるので、今後も積極的にFDに参加し、主に学生のケア方法や情報共有については重点的に実施したい。
授業改善のために取り入れた研修内容	特に舞台スタッフ分科会のFDでは学生の個別案件が多く、教員間でも違う判断になる場合もあり、状況共有と指導方針を定期的に確認、協議することは重要であり、今後もFD等で重点的に行いたい。またFD以外にも日ごろの問題や検討議案がある場合は各セクションによる連絡会議も実施し学生のケアができるように引き続き研修を行いたい。特にTeams等を使用することで非常勤教員の参加率が高く、意見交換も活発になるので今後も実施したい。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2068 教員名:西海 幹樹

公演実習Ⅰ

1)アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思うが 100%と高く、授業の工夫についてもそう思う 87.5%、少し思う 12.5%と満足度が高い。あまりネガティブな意見は少ない。

2)要望への対応・改善方策

特に要望はない

3)今後の課題

短大で運営予定であったライブステージクリエイターコースと同時運用を予定しており、新カリキュラムとの整合性が複雑であり、実習数も増えているため、学生の参加意欲を掛けないように慎重に運営したい。

公演実習Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ照明

1)アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思うが 100%と高く、授業の工夫についてもそう思う 87.5%、少し思う 12.5%と満足度が高い。あまりネガティブな意見は少ない。

2)要望への対応・改善方策

特に要望はない

3)今後の課題

短大で運営予定であったライブステージクリエイターコースと同時運用を予定しており、新カリキュラムとの整合性が複雑であり、実習数も増えているため、学生の参加意欲を掛けないように慎重に運営したい。

卒業制作作品研究

1)アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 75%、少しそう思う 12.5%、あまり思わない 12.5%と公演実習に比べるとややネガティブな意見もあるが、少しずつ運用方法や指導を改善したことで学生満足度が上がってきたように感じる。

2)要望への対応・改善方策

特に要望はない

3)今後の課題

Teams を使用した遠隔授業にしたことで、指導も学生のペースに合わせることができ学生満足度が上昇しているので、今後も継続していきたい。

舞台情報処理 XYZ

1)アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 100%、わかりやすくする工夫がそう思う 90%、少しそう思う 10%と学生満足度が高く、ネガティブな意見が少ない。

2)要望への対応・改善方策

特にない。

3)今後の課題

2025 年度より新カリキュラムで 1, 2 年次混合になるため移行期間のフォローがしっかりできるよう教科書、レジュメのリニューアルなど対策をしている。

舞台芸術実習②照明

1)アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 100%、わかりやすい工夫がそう思う 92.3%、少し思う 7.7%と学生満足度が高く、あまりネガティブな意見は少ない。

2)要望への対応・改善方策

要望(自由記述)相談事に毎回親身に寄り添ってくれる先生方が多いです。

の 1 件のみでこの授業は照明デザイン、スタッフの準備作業などゼミ形式のため今後もきめ細やかな対応ができるように教員間で情報共有を継続する。

3)今後の課題

短大で運営予定であったライブステージクリエイターコースと同時運用を予定しており、新カリキュラムとの整合性が複雑であり、実習数も増えているため、デザイン・準備作業においても学生の参加意欲を掛けないように慎重に運営したい。

舞台芸術実習①

1) アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 90.9%、少し思う 9.1%、わかりやすい工夫そう思う 81.8%、少し思う 18.2%と満足度が高く、ネガティブな意見は少ない。

2) 要望への対応・改善方策

特になし

3) 今後の課題

2 年次に初めて舞台公演に関する実践的な知識を学ぶ科目であり、安全性を高めるには重要な科目である。現在の舞台業界の基準に適合した安全教育を実施できるよう、舞台業界の状況を把握し、指導できる資格を取得するなど安全性を高めたい。

舞台スタッフ論②

1) アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 100%、わかりやすい工夫がそう思う 82.6%、少し思う 17.4%と学生満足度が高く、ネガティブな意見は少ない。

2) 要望への対応・改善方策

- ・楽しかったです。
- ・スカラの空調があまり極端でないようにしてほしいです
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・来年に向けて色々なことを学べたので、次の学びに活かせるようにしたい。
- ・1 年間ありがとうございました。

等授業に関してネガティブな意見はないが、北校舎設備については例年要望があり設備面の改善を求めたい。

3) 今後の課題

今後も舞台スタッフの入門編として興味を持ちながら、必要な知識が学べる科目としてブラッシュアップして満足度を高めたい。今後は舞台スタッフ論①②の内容を統合して舞台スタッフ概論として運用する。

インターンシップ①舞台スタッフ

1) アンケート結果に対する所見

興味・関心がそう思う 71.4%、少し思うが 28.6%と学生満足度が高く、ネガティブな意見は少ない。

2) 要望への対応・改善方策

・サウンドウィザードの大野先生の立場や、責任を考えると、私たちインターン生ができることは少なかったと思います。ただ、キャストさんへの威圧的な態度や、大野先生の会社の方の危険行為など、学生に悪影響な部分もありました。半分プロの現場という特殊な状況でのインターンをできたことは、大変勉強になりましたし、ワイヤレスマイクの養生など、新しい知識も得たことは事実です。

上記は音響セクションの学生からの意見ですが、インターンシップと実習を勘違いしているように感じ、実践的な現場を学ぶ立場で安全を面から威圧的な態度をとることもあり、実際には舞台監督、照明セクションにも学生は参加しており各セクションでも現場の厳しさがあった。

今回は学内の公演なので基幹教員も安全面から数日参加したがそこでも、例えば照明では劇場事務方から威圧的な態度で接しられたこともあり、学生に非常に悪影響でインターンシップ先ではなく、劇場側の態度に学生が委縮してしまった点があるが、それも現場を知るためには重要であると学生に説明し、フォローした。この案件は本末転倒ではあるが、インターンシップは現場に入る意識をしっかりと理解して参加させるべきであり、中途半端な気持ちで参加すべきではないと照明セクションでは指導した。結果的に照明セクション、舞台監督セクションからは大きな不満は出ていない。

3) 今後の課題

インターンシップは実際の現場を体験することを目的としており、授業のように学生主体ではなく実際の現場の厳しさなどを、見学、手伝いを通して学ぶものであり、今後の指導ではしっかりと指導し、インターンシップ先にも迷惑を掛けないように実施すべきであると感じる。

以 上